

【証券コード：6728】

決算説明資料

2020年度（FY2020）

第1四半期（1Q：2020年7月～2020年9月）

2020年11月13日

株式会社 アルバック

2020年度第1四半期の連結業績についてご説明します。

◆将来見通しに関する記述についての注意事項

本資料に記載の業績見通しならびに将来予測は、現在入手可能な情報に基づき作成されたものです。
世界経済情勢、半導体・電子部品・FPD・原材料などの市況、設備投資の動向、急速な技術革新への対応、為替レートの変動など様々な要因により、実際の業績・成果等はこれらの見通し・将来予測と大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

◆本資料における表示方法について

(特段の記載がない限り、数値はすべて連結ベースです)

数値： 単位未満四捨五入
比率： 百万円単位で計算後、単位未満四捨五入
会計期間の表現：
2Q (累計)： 第2四半期連結累計期間
2Q： 第2四半期連結会計期間

2020年度1Q連結業績まとめ

- 1Q受注高は前年同期比減少するが、当初想定通り
- 2Q以降に予定する大口商談、活発化する中国のエレクトロニクス関連投資の取り込み、設備投資の段階的回復等により、2Q以降、受注回復
 - ・ FPD関連の中小型OLED・大型TV用LCD等の大口商談が2Q以降に集中
 - ・ エレクトロニクス関連の投資が活発化する中国への渡航再開で受注増加見込み
 - ・ 半導体の1Qは一時的な端境期であり、2Qから回復見込み
 - ・ コンポーネント・分析機器関連等の設備投資の段階的回復
- 受注高・売上高・利益は通期計画達成見込み

〈1Q実績〉

□ 受注高	312億円	(前年同期比▲11%)
□ 売上高	366億円	(前年同期比▲22%)
□ 営業利益	10億円	(前年同期比▲80%)

〈通期計画〉

1,800億円
1,650億円
150億円

3

FY201QPSN20201113J

© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

今期1Qの受注高は312億円で、前年同期比減少しますが、大口商談が2Q以降に集中する予定であったこと、新型コロナウイルスの影響で中国への渡航が可能となる2Q以降に電子関連の受注が増加すると見込んでいたことなどから、当初から1Qは低めに推移すると想定していました。

2Q以降は、FPD関連のスマートフォン用中小型OLEDや大型TV用LCD投資等の大口商談が2Q以降に集中すること、エレクトロニクス関連の投資が活発化する中国への渡航が再開できたこと、1Qの半導体は一時的な端境期であり、2Qから回復見込みであること、コンポーネントや分析機器等も設備投資の段階的回復が見込まれることなどから、受注回復を見込んでいます。

受注高1,800億円・売上高1,650億円・営業利益150億円の通期計画はいずれも達成見込みです。

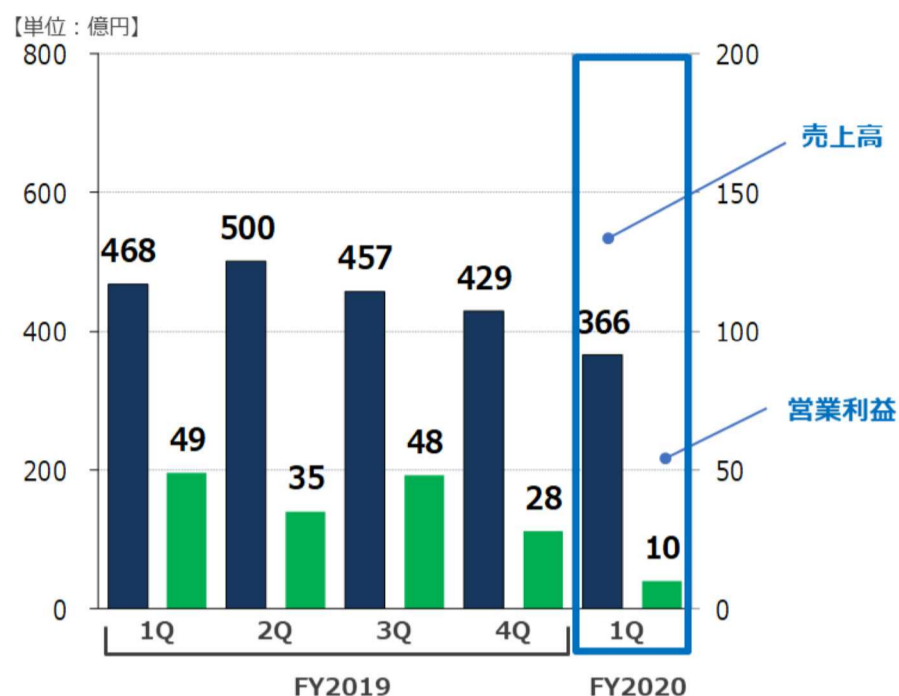
2020年度1Q連結業績概要

- 受注高：大口商談の2Q以降への集中、新型コロナウイルスによる渡航制限等により、前年同期比減少（当初想定通り）
- 売上高：受注減少により前年同期比減少
- 営業利益：売上減少により前年同期比減少

【単位：億円】

	2019年度	2020年度	
	実績	実績	対前年同期 増減率
	1Q	1Q	
受注高	352	312	-11.2%
売上高	468	366	-21.9%
営業利益	49	10	-79.8%
率	10.5%	2.7%	-7.8pt
経常利益	61	10	-83.1%
率	13.0%	2.8%	-10.2pt
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	34	3	-90.6%
率	7.4%	0.9%	-6.5pt

売上高と営業利益の推移（四半期毎）



4

FY201QPSN20201113J

© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

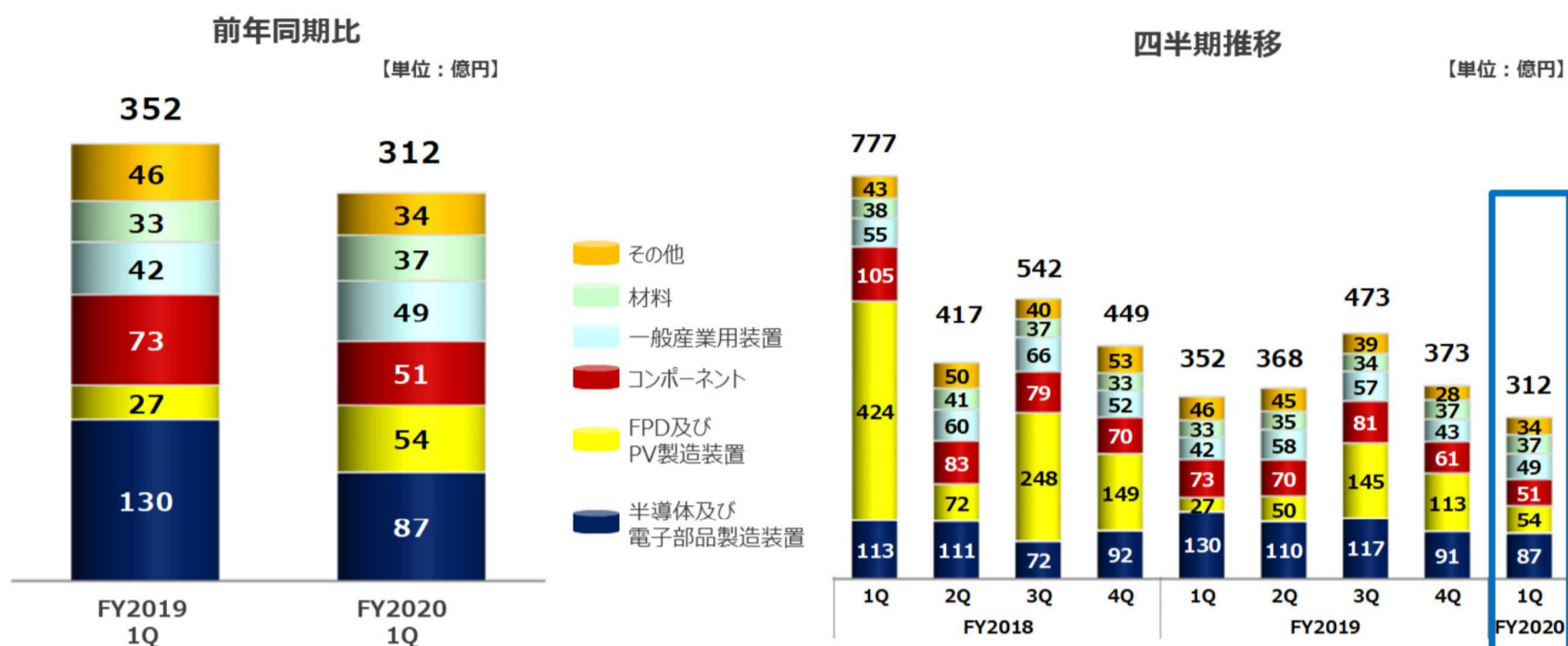
ULVAC

1Qの受注高については、大口商談の2Q以降への集中、渡航制限等により、当初想定通りではあるものの、前年同期の352億円から312億円に減少しました。

売上高も、期初受注残高が低かったこと及び受注減少により468億円から366億円に減少し、営業利益も49億円から10億円に減少しました。

2020年度1Q連結業績概要（品目別受注高）

- 半導体・電子部品製造装置：上期受注は前年同期並みを見込むが、当初より2Qに商談集中予定で1Qは前年同期比減少（電子関連は渡航制限の影響大きいですが、順次移動可能に）
- FPD・PV製造装置：今期は2Q以降（特に下期）に大口商談があり、1Qは当初想定通り
- コンポーネント：自動車関連の設備投資延期等により前年同期比減少



5 FY201QPSN20201113J
© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

半導体・電子部品の受注高は、当初より2Qに商談集中予定であったため、1Qは前年同期比減少していますが、上期受注は前年同期並みを見込んでいます。

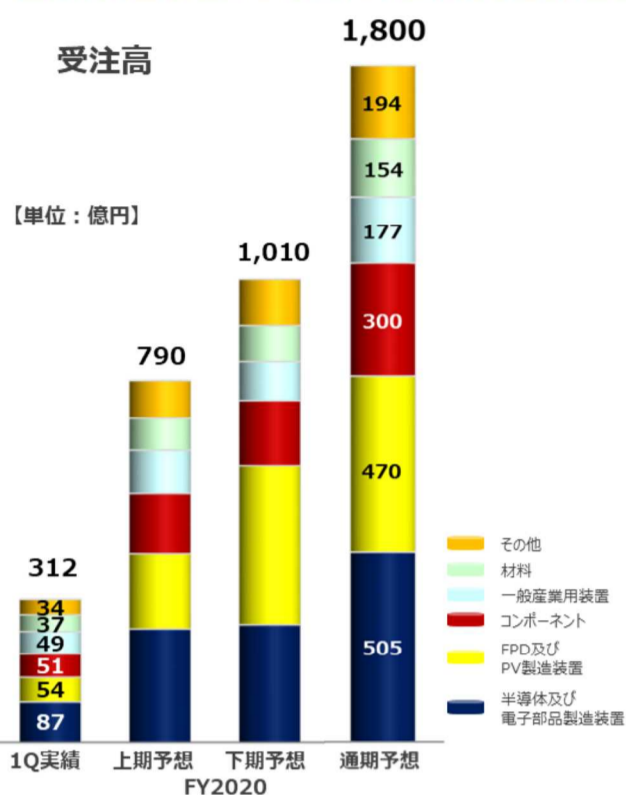
電子部品は中国でパワー半導体や5G関連等の投資の動きが活発化する中、渡航制限でエンジニアが中国に渡航できずにいましたが、順次移動可能になってきています。

FPD関連も2Q以降、特に下期に大口商談があり、2Qから受注が増加し始める見込みです。

コンポーネント関連は、自動車関連の設備投資計画延期等により前年同期比減少しました。

2020年度連結業績予想（品目別受注高）

- 大口商談の2Q以降への集中、渡航制限等により、1Qの受注高は低水準（当初想定通り）
- 上期受注計画790億円、通期受注計画1,800億円に変更なく、2Q以降、受注高・売上高ともに回復基調となる見込み



(1)半導体・電子部品製造装置

- 半導体は、1Qは一時的な端境期となったが、2Qから回復、通期では前年同期並みを見込む
ロジックのメタルハードマスク工程新規参入を足掛かりに、ファウンドリーやメモリーメーカーとのセカンドベンダーとしての共同開発案件増加(21年度以降の貢献を見込む)
- 電子部品は、中国の投資の動きが活発化する中、日本からの渡航も再開し、2Q以降の受注増加を見込む

(2)FPD・PV製造装置

- 中小型OLED、大型TV用LCD等大口商談が2Q以降に集中しており、通期計画通りの受注を見込む

(3)コンポーネント

- 2Q以降、半導体・電子関連設備投資等の段階的回復を見込む
下期にクライオポンプのOLED関連大口商談が複数あることなどから受注増加を見込む

(4) その他

- 新型コロナウイルスの影響等により欧米研究所向け分析装置の商談が進んでおらず、2Q以降、欧州から順次回復を見込む

6

FY201QPSN20201113J

© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

1Qの受注高は、大口商談の2Q以降への集中や渡航制限により低水準となりましたが、2Q以降の受注回復により、上期790億円、通期1,800億円の受注計画に変更はありません。

半導体は、1Qは一時的な端境期となりましたが、2Qから回復し、通期では前年同期並みを見込んでいます。

ロジックのEUV活用に伴うメタルハードマスク工程への新規参入を足掛かりに、ファウンドリーやメモリーメーカーとのセカンドベンダーとしての共同開発案件が増加しており、来年度以降の貢献を見込んでいます。

電子部品は、中国のパワー半導体や5Gに関連した投資等の動きが活発化するなか、移動制限も緩和傾向にあります。既にエンジニアが数人、日本から中国に渡航し、直接、仕様等の確認ができるようになり商談のスピードが速まっており、2Q以降の受注増加を見込んでいます。

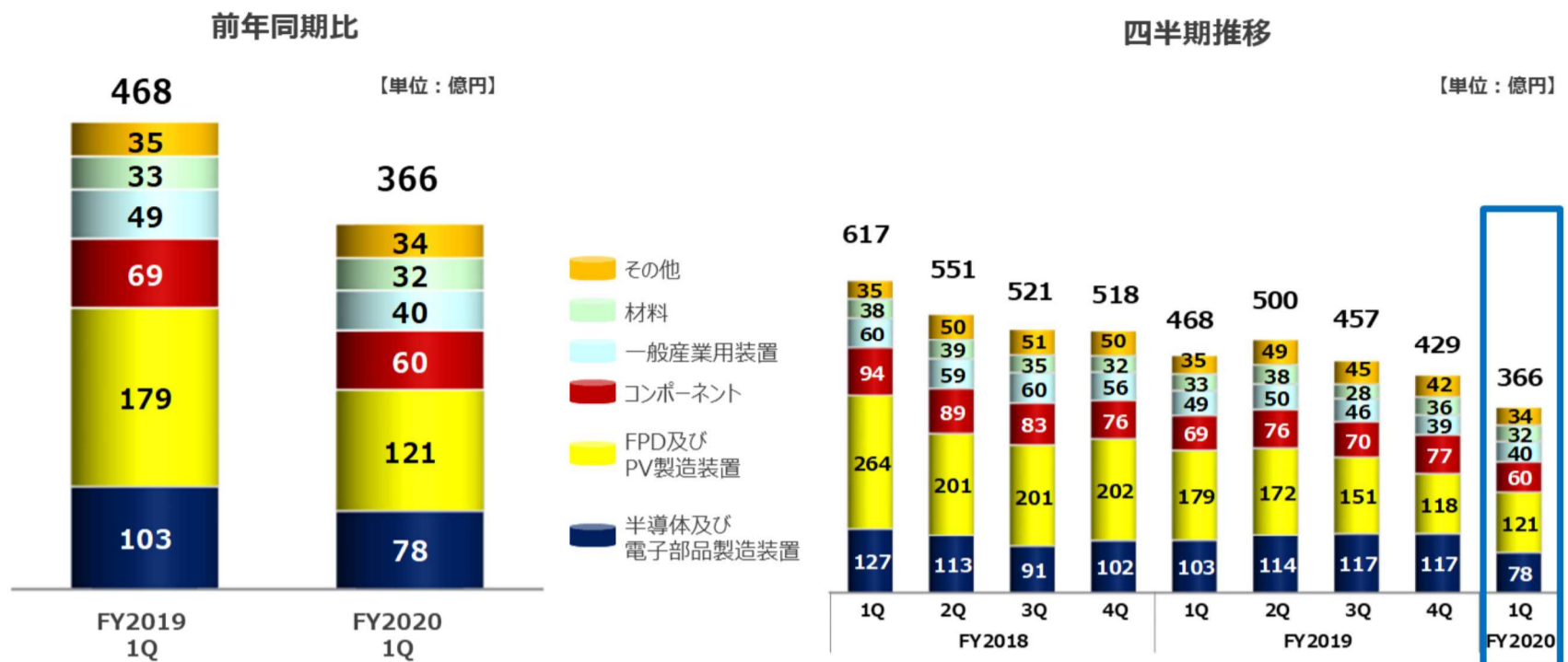
FPD関連では、中小型OLED、大型TV用LCD等の大口商談が2Q以降に集中しており、通期計画通りの受注を見込んでいます。

コンポーネントは、2Q以降、半導体・電子関連設備投資等を中心に段階的回復を見込んでいます。クライオポンプは、下期にOLED関連の大口商談が複数あることなどから受注増加を見込んでいます。

その他は、新型コロナウイルスの影響等により欧米研究所向け分析装置の商談が進んでいませんでしたが、2Q以降、欧州から順次回復すると見込んでいます。

2020年度1Q連結業績概要（品目別売上高）

・ 受注減少に伴い前年同期比減少

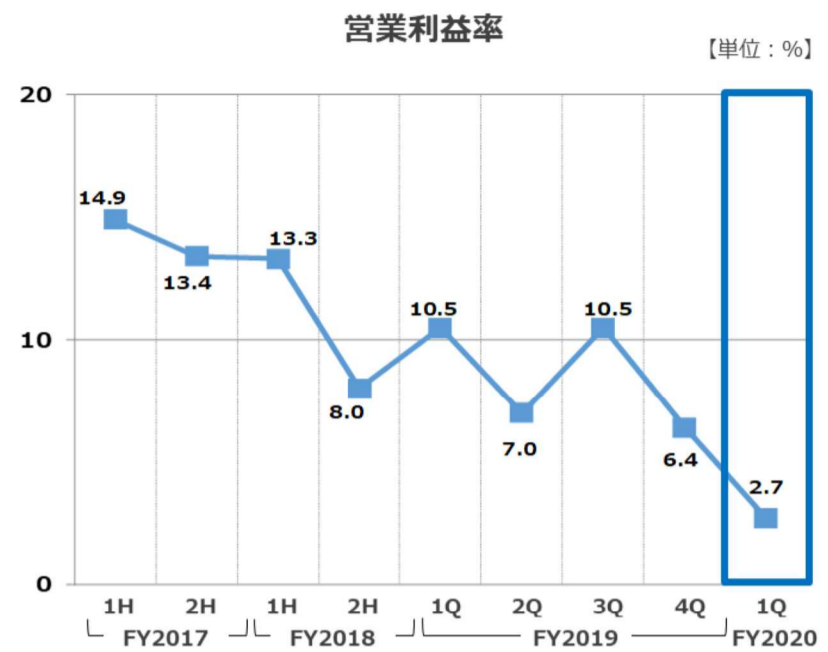
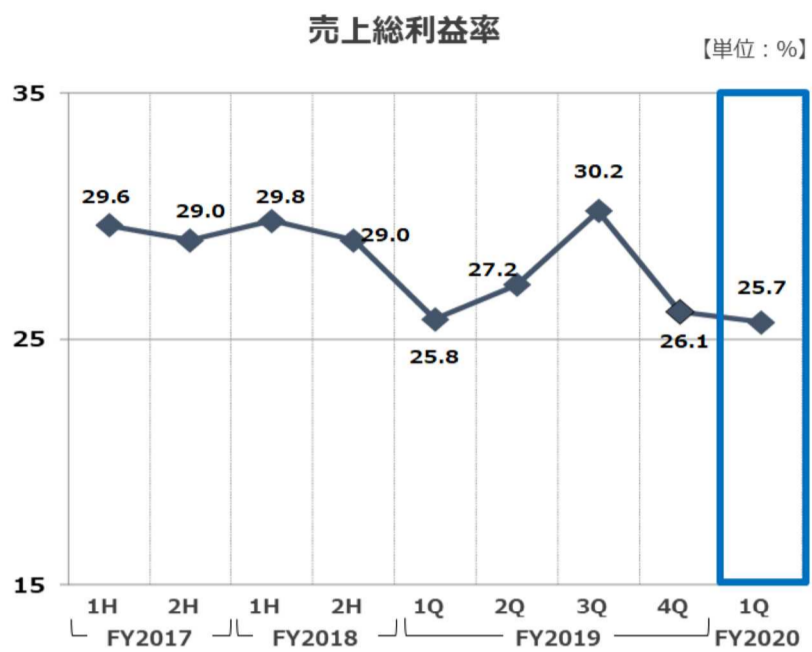


売上高は、半導体・電子部品、FPD関連、コンポーネント等、受注減少に伴い前年同期比減少しました。

2Q以降、受注高回復とともに売上高も回復する見込みです。

2020年度1Q連結業績概要（利益率）

- ・ 売上減少により営業利益率低下



8

FY201QPSN20201113J
© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

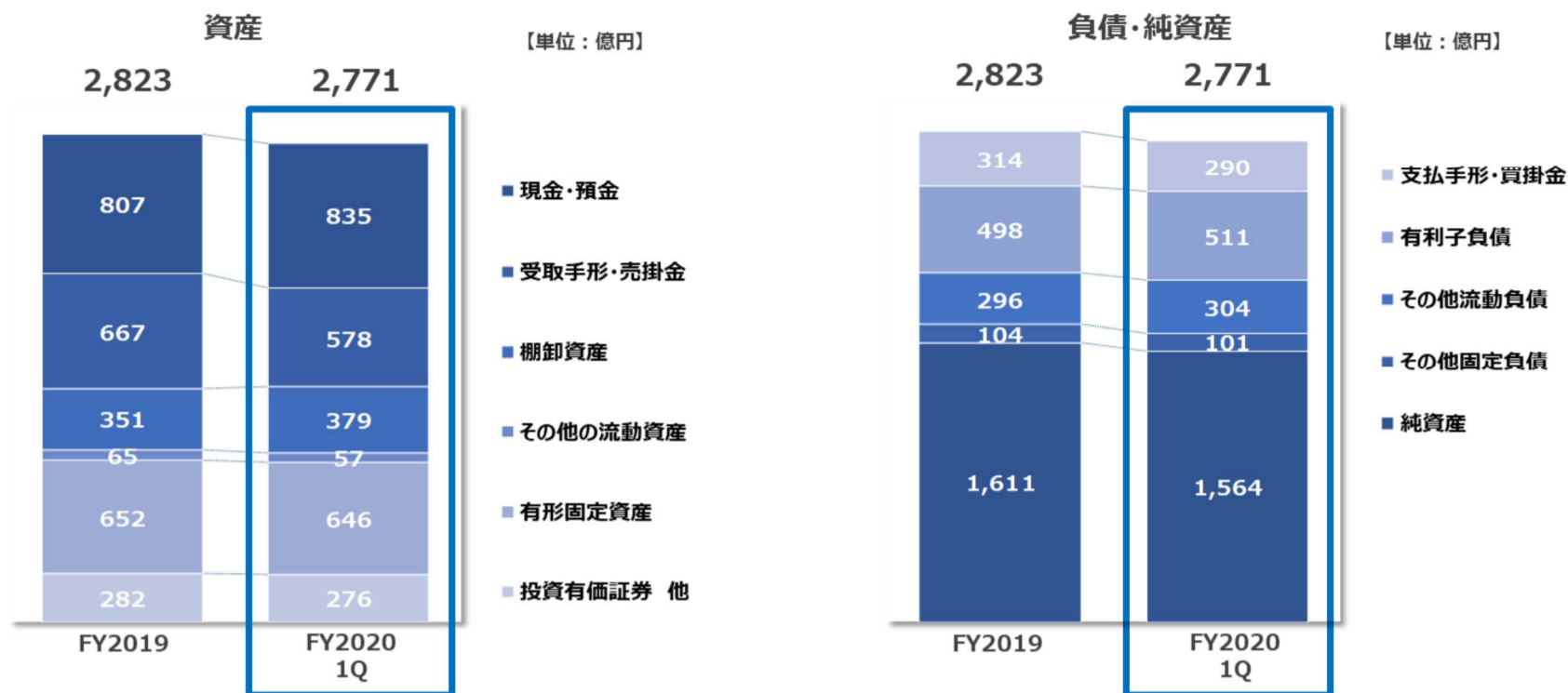
ULVAC

売上高減少に伴い営業利益率が低下していますが、売上総利益率はほぼ横ばいとなっています。

今後、モノづくり力強化による利益率改善と売上回復の効果で売上総利益率・営業利益率ともに改善していく計画です。

2020年度1Q連結業績概要（連結貸借対照表）

- 受取手形・売掛金89億円減少、支払手形・買掛金24億円減少
- 総資産53億円減少、自己資本比率54.2%



9

FY201QPSN20201113J
© 2020 ULVAC, Inc. | Confidential and Proprietary Information

ULVAC

バランスシートですが、売上高の減少もあり、受取手形・売掛金は89億円、支払手形・買掛金は24億円減少しました。
総資産も53億円減少し、自己資本比率は54%となりました。

以上で説明を終了いたします。

さまざまな業界・用途で貢献するアルバックの真空技術



Automobile
自動車



Semiconductor
半導体



Flat Panel Display
フラットパネルテレビ



Photovoltaic
太陽電池



Food Processing
食品



Aircraft
航空



Bio
バイオ



Smart Phone
スマートフォン



Magnetic Device
磁気デバイス



Home Appliance
家電製品



Aerospace
宇宙産業



Pharmaceutical
医療・薬剤



Wearable/VR
ウェアラブル/VR



Power Device
パワーデバイス



MEMS Device
MEMS デバイス



Architectural Glass
建材・スマートガラス



Optical
光学



Flexible
フレキシブル



Packaging Materials
パッケージング



Battery
バッテリー

真空テクノロジーで
「つくる」をつくる
ULVAC